

## 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

この度、下記の検査項目につきまして、検査内容を変更させていただくことに致しましたので、取り急ぎご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

### 対象項目

- 1645 ヘリコバクター・ピロリ IgG
- 3336 ABC 分類

### 変更内容

コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
1645	ヘリコバクター・ピロリ抗体 IgG	検査項目名	ヘリコバクター・ピロリ抗体	ヘリコバクター・ピロリ抗体 IgG	案内書掲載 頁 67
		検査方法	LA [栄研化学]	EIA [栄研化学]	
		所要日数	3~4日	3~5日	
3336	ABC 分類 (同時依頼項目) 1645 ヘリコバクター・ピロリ抗体 IgG 3337 ヘプシゲン	検査方法	ヘプシゲン LA ヘリコバクター・ピロリ抗体 LA	ヘプシゲン LA ヘリコバクター・ピロリ抗体 IgG EIA	検査方法変更および A、 B、C、D 判定 の採用
		判定区分 (胃の健康度)	A/B/C/D (4 区分)	A/B/C (3 区分)	
		所要日数	3~4日	3~5日	

### 変更期日

- 平成 27 年 3 月 31 日(火) 受付日分より

## ヘリコバクター・ピロリ抗体

ヘリコバクター・ピロリ抗体IgG の測定試薬を同一メーカーが販売する汎用自動分析装置用の総抗体価を測定する検査試薬に変更致します。新試薬では IgG 抗体に加え、IgA および IgM クラスの抗体を含む総抗体価を測定するため、陽性率が向上します。

なお、本変更に伴い、検査項目名をヘリコバクター・ピロリ抗体に変更します。

### 新旧二法の相関

		旧法		
		陽性 (+)	陰性 (-)	計
新法	陽性 (+)	112	34 ※2	146
	陰性 (-)	4 ※1	450	454
	計	116	484	600

【判定一致率】

陽性一致率 : 96.6%(112/116)

陰性一致率 : 93.0%(450/484)

判定一致率 : 93.7%(562/600)

(

(LSIメディエンス検討データ)

※1 : 旧法陽性、新法陰性の 4 例は両法共にカットオフ値付近でした。

※2 : 旧法陰性、新法陽性は IgA 抗体を認識しているものと考えられます。

## ABC分類

胃の健康度を調べる「ABC分類」検査のうち、ヘリコバクター・ピロリ抗体の検査方法を総抗体価測定用の試薬に変更致します。

また、従来はペプシノゲンとヘリコバクター・ピロリ抗体の結果により、胃の健康度をA、B、Cの3群に分類し、結果をご報告しておりましたが、今回の変更に合わせてA、B、C、Dの4群でのご報告に変更致します。

なお、専用報告書につきましても別掲の通り変更いたします。

## 新判定基準と胃の健康度

### 【判定基準】

		HP抗体価検査	
		陰性 (-)	陽性 (+)
PG検査	陰性 (-)	A	B
	陽性 (+)	D	C

### 【胃の健康度】

A群	健康な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いと考えられます。
B群	少し弱った胃です。 胃潰瘍・十二指腸潰瘍などに注意が必要です。
C群	弱った胃です。 内視鏡による定期的検査を受診しましょう。
D群	かなり弱った胃です。 かならず、内視鏡による定期的検査を受診しましょう。

## ABC分類検査報告書

**A B C 分類検査報告書**

検体№

受診者名  年齢  性別

科名  受付日  年 月 日

検査日  検査日  年 月 日

**A B C D 分類判定結果**

\*\*\* あなたの胃の状態 \*\*\*

A群 健康な胃 B群 少し弱った胃 C群 弱った胃 D群 かなり弱った胃

コメント

**ペプシノゲン/ヘリコバクター・ピロリの判定結果**

検査項目	判定	検査項目	判定	測定値
ペプシノゲン		ヘリコバクター・ピロリ抗体		U/ml
基準値 10 U/mL未満				

ペプシノゲン検査項目	測定値	判定	備 考
ペプシノゲンⅠ	ng/ml		
ペプシノゲンⅡ	ng/ml		
ペプシノゲンⅠ / ペプシノゲンⅡ 比			
基準範囲 ペプシノゲンⅠ : 70.1ng/mL以上またはペプシノゲンⅠ/Ⅱ比 : 3.1以上			

医療機関

検査実施施設

株式会社LSIメディクス インフォメーション 医療機関用 : (03) 5944-2111

あなたの「胃の健康度」は  
血液でチェックすることができます！

ペプシノゲン検査 + ヘリコバクター・ピロリ抗体検査

胃の検査で多く実施されているのはバリウムを飲んでから行うX線撮影で、フィルムに写った胃壁の凹凸から胃の状態を見る検査です。この方法とは別に、2種の血液検査を組み合わせることによって「胃の健康度」を調べることができます。

**Aタイプ**  
健康的な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いと考えられます。ただし、逆流性食道炎には注意しましょう。

**Bタイプ**  
少し弱った胃粘膜です。胃がんなどの病気になりやすいタイプです。内視鏡による定期的検査を受診しましょう。

**Cタイプ**  
弱った胃粘膜です。胃がんなどの病気になりやすいタイプです。内視鏡による定期的検査を受診しましょう。

**Dタイプ**  
かなり弱った胃粘膜です。胃がんなどの病気になるリスクがあります。かならず、内視鏡による定期的検査を受診しましょう。

ペプシノゲン検査	ヘリコバクター・ピロリ抗体検査	
	陰性(-)	陽性(+)
陽性(+)	Aタイプ	Bタイプ
陰性(-)	Dタイプ	Cタイプ

「ペプシノゲン」という物質の血中濃度を測定することで、胃粘膜の老化(萎縮)を客観的に調べる検査です。

胃がヘリコバクター・ピロリ菌に感染していないか調べる検査です。感染している人すべてが胃の病気になるわけではありません。

数値 : 川崎医科大学 総合臨床医学 准教授 井上和彦

